

桑名市地域包括ケア計画－第9期介護保険事業計画・第10期老人福祉計画－(案)に係るパブリックコメント実施結果(案)

「桑名市地域包括ケア計画－第9期介護保険事業計画・第10期老人福祉計画－(案)」に対して貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。いただきましたご意見とそれに対する市の考え方を公表いたします。なお、ご意見については原文のまま掲載しておりますが、明らかな誤字等は修正のうえ掲載しています。また、固有名詞等については伏せ字としています。

番号	ご意見	市の考え方
1	<p>第4章 P68 施策の展開</p> <p>えぷろんサービス(訪問型サービスB)について、〇〇〇(法人名)でも有償ボランティア活動をしており、桑名市から「ささえあい支援事業」に認定されていますが、生活支援をしてもらうボランティアの確保が困難です。今後さらにニーズが増えることが予想されるので、もう少し財政支援をしていただくとボランティアの確保にプラスになると思います。</p>	<p>えぷろんサービスにつきましては、第8期でも利用が低位で推移していますが、委託先や委託方法などを含めサービスの見直しについても検討し、利用の拡大を図ります。</p> <p>また、介護支援ボランティア制度においても、第8期からささえあい支援事業も対象として広がっていますが、今後も、活動場所や年齢層の拡大など、ボランティア活動の裾野の拡大についても検討していきます。</p>
2	<p>第4章 P71 施策の展開</p> <p>通いの場応援隊(訪問型サービスD)について、〇〇〇(法人名)では現在、有償・無償での送迎の仕組みづくりをリサーチしています。国土交通省の示すモデルも参考に、有償であっても許可が不要とされる送迎事業を立ち上げる予定です。しかし有償とはいえ、安価に利用できるサービスにしようと思うと、採算が難しく、将来的に桑名市からの財政支援を期待したいところです。豊明市には市が援助して医療生協が運営する「のって号」の実例があります。</p>	<p>通いの場応援隊については、第8期におきましては利用が低位で推移していますが、今後も移動支援に関しては必要性があると認識しています。</p> <p>生活支援としての「移動支援」等については、生活支援コーディネーター等と協働し、地域の事情を踏まえ、他市町の良い実践例も参考に総合的な検討をしていきます。</p>